

2025年度の活動方針(案)にご意見をお寄せください

岐阜健康友の会会長 大塚 研二

3カ年計画(2023～2025)と2024年度の活動方針に基づく2年間の活動を踏まえ、2025年度の活動方針をつくりまします。

3カ年計画では4項目の方針を提起し、(1)新病院建設を成功させ、友の会会員、「いつでも元気」購読者を広げる。2.より多くの人が参加する支部の活動を。3.安心して住み続けられるまちづくりと憲法、平和を守る活動。4.全国各地の共同組織と交流し、その活動を学ぶ。2024年は、これらの活動を二つの方向から(A.全体で協力しながら進める活動B.各支部や班ですすめたいこと)進めました。この方針に基づく2年間の主な活動をまとめてみます。

※新病院建設と歯科クリニック開院の取り組みが弾みとなり、
①地域に見える活動が広がる(若い医師、職員が参加の健康班会、「いつでも元気」読者交流会、バス旅行、子ども食堂など)
②支部活動の交流が広がり、参加が増える(健康まつり、モルック大会など)
③会員、「いつでも元気」読者が増え、勤医協基金の目標達成。
※平和と憲法を守る活動にも取り組み、岐阜市で初めての「憲法9条の碑」の建立。

②伊藤千尋さん(国際ジャーナリスト)、木戸季市さん(日本被団協事務局長)を囲む座談会の開催。
③田中照己さん(日本被団協代表委員)のノーベル平和賞受賞式の演説の視聴会を開き、核廃絶の運動を考える。
※全国の共同組織活動交流集会に参加し、活動報告を行い、多彩な活動学ぶ。

今年度(2025年度)の方針案を4項目にまとめてみました。ご意見をお寄せください。
1. 会員と地域の要望、要求を基に、地域に見える活動を進め地域でのつながりを広げる。

①職員と共同で健康づくりを広げる。
②若い世代の参加への働きかけを強める。

③困りごとや様々な要求を出し合い考える機会をつくる。

④楽しく交流する企画を続ける。(健康まつり、モルック大会、バス行楽など)

2. 友の会本部、支部の体制を強化し、活動を前に進める
①本部の役員会に、女性、若い世代を加える。

②支部活動の交流を進める

③隔月の学習会を継続的に取り組む。

④ボランティア活動を進める。

⑤準備会を支部にし、新たな支部をつくる。

⑥定期総会のありかたを検討する。

⑦支部の運営体制強化に協力し合う。

⑧会員、「いつでも元気」購読者を増やし、勤医協基金を広げる。

⑨訪問、声かけなどで新入会員に活動への参加を呼びかける。

3. 民医連事業所の発展を支える。
①事業所の発展への寄与をめざし、勤医協基金を拡大する。

②事業所への要求、要望に耳を傾け、論議し具体化を考える。

③職員との共同の取り組みを強める。(健康班会、医療・介護相談、地域訪問)

④地域の諸団体、個人との共同を進める。

4. 安心して住み続けられるまちづくりと憲法、平和を守る活動を進める。
①岐阜市で初めての「憲法9条の碑」を活かし、憲法を守り、核兵器廃絶をめざす行動などへの参加を広げる。

②大軍拡反対請願署名(税金はくらしの拡充に 戦争準備の軍拡は中止して、憲法、平和、いのち、くらしを守る政治への転換を求める請願署名)に取り組む。

③戦後80年、平和ツアー、平和学校の企画を考える。

④交通問題に取り組む。

みどり病院職員が地域と一緒に健康班会を開催！

芥見南支部



2/17(月)「健康と歯」をテーマに健康班会を15名で開催。講師は2～3年目のみどり病院病棟看護師5名。「研修の一環ではありますが、初めて班会に参加しました。」「健康班会は健康の増進や疾病の予防にも役に立っているのだと思いました。」との感想でした。

各務原支部 おとこぐみ班



3月28日(金)「高齢者の今後の生活の在り方」というテーマで、みどり病院のケアマネ2名を講師に招き、参加者8名で班会を開催しました。参加者の質問にも答えてもらい、今後の生活について考える班会となりました。

南山支部 (準)



3/25(火)久しぶりに「骨密度測定」班会を16名の参加者で開催しました。講師はみどり病院の放射線技師2名。初めて測定した方も数名おり、1年に1回は測定しようということになりました。

岐阜健康友の会会員は、大腸がん検診が無料です！

捨てるうんこで
拾う命

岐阜健康友の会の会員は、1年に1度、大腸がん検診(便潜血検査2回法)を無料で受けられる特典があります。

この特典を使って、1年に1回大腸がん検診を受けましょう！

大腸がんは、がん死亡率、女性1位 男性2位

(2023年国立がん研究センター統計)

無料大腸がん検診の受け方

①便潜血検査キットを、みどり病院、華陽診療所、こがねだ診療所受付・岐阜健康友の会事務局へ受取りにきて下さい。

※友の会へ取りに来られる場合は、事前に電話連絡をして下さい。

※取りに来られない方はご相談ください

②自宅にて、別日に2回検査を行って下さい。

③2回の検査ができましたら、なるべくその日に各受付へ提出して下さい。

※その日に提出が難しい時は、涼しい場所(冷蔵庫等)に保管してください。(3日以内に提出をお願いします)

④検査結果は後日自宅に郵送されます。

※陽性反応の場合は、次の検査の案内も同封されます

友の会無料大腸がん検診 2019年度～2023年度 5年間の統計

年度	受診者数	精密検査							精査結果									
		要精査数	要精査率	精査受診					大腸癌		大腸ポリープ		異常なし	大腸憩室	痔核	その他腸炎	その他疾患	
				当院	他院	大腸CT	精査合計	精査受診率	早期	進行	経過観察	切除						
2019年度	1305	158	12%	38	8	58	104	66%	5	1	16	21	22	32	0	7	1	
2020年度	1424	170	12%	43	1	70	114	67%	5	1	25	24	22	26	4	3	0	
2021年度	1386	202	15%	58	0	78	136	67%	3	1	27	27	37	39	0	3	0	
2022年度	1400	161	12%	31	1	70	102	63%	2	2	29	13	15	38	0	3	0	
2023年度	1360	155	11%	37	0	60	97	63%	3	2	17	17	24	35	0	1	0	
合計	6875	846	12%	207	10	336	553	65%	18	7	114	102	120	170	4	17	1	

問い合わせ先：058-244-3522 (岐阜健康友の会)：058-241-0681 (みどり病院健診センター)

身近なもので認知症予防



みどり病院 看護課長 福島 麻悠子

友の会の皆さん、こんにちは。認知症看護認定看護師の福島です。

昨年度は、東部コミュニティセンターの文化講演会、長良支部の合同班会など『認知症について』をお話させて頂いた機会をいただきました。地域の皆さんと一緒に、認知症について考える貴重な経験だったと思います。

さて、よく聞く『認知症』という言葉ですが、皆さんどんなイメージをもって見えますか？認知症について様々な情報が行き交う世の中です。認知症予防といっような商品が売られていますが、地域の方や患者さんからよくお聞きするのは

『認知症になったときに、何もうまくできなくなる』という言葉を聞くと、認知症にはなりたくないから、予防しよう！となりますよね。そのために、今までやったことのない計算ドリルを宿題のように毎日されている方もいます。ドリルを楽しくできるのならよいと思いますが、今まで慣れ親しんでいた続けるのはとても大変なことだと思えます。まずは、日々の生活の中でちょっとした工夫をしてみよう。

身近なものとして、皆さんが使用されているスマートフォンを活用してみよう！メッセージのやりとりや写真撮影だけではなく、『やりたいことをするために』予防だけではなく、

く、認知症になったときに支援者の役割を果たしてくれることもある、強い味方です！ぜひ、カレンダーやタイムマー、マップの使い方を直しましょう。

